

54. 仮設住宅で、炊き出し、足湯、お茶っこ、催しで 高齢者・子どもが元気に

グループ名 支援サークル『絆』

代表者 井上 孝司

① 活動の目的

東日本大震災、熊本地震の被災地の仮設住宅を訪問し、被災した人達や高齢者・子ども達への支援活動を行ないます。多くの仮設住宅では、高齢者や子ども達は、なかなか外に出られず引きこもりがちになり、住民同士の交流の輪に参加しにくい状況が多くあります。

仮設住宅の自治会役員の方々と一緒になり、個別に訪問して支援物資（全戸にお米・お味噌・生活用品）を届けながら声掛け（結果的には安否確認に）もします。集会所をお借りして催しを行い、コミュニケーション作りの手助けをしつつ、住民の方々が笑顔になり元気になる活動をめざしています。

② 活動概要・・・第20回『絆』支援活動について

*活動準備期間…7月初旬から9月初旬まで

- ・参加者の募集（参加費＝20,000円）
- ・お米などの支援物資・活動支援カンパの呼びかけ
- ・支援物資の集約や現地への発送 など

*活動実施期間と参加者…9月15日～9月18日 仮設集会所2泊 支援者宅1泊

参加者 16名

*訪問先・・・宮城県気仙沼市 反松公園仮設住宅 幸町市営住宅 地域のまつり

*主な活動内容…各戸に『絆』支援物資（お米・お味噌・ティッシュボックス）を届ける。

炊き出し（京風うどん）（綿菓子）（餃子ピザ）

無料バザー（衣類・生活雑貨・おもちゃ・食器類・毛糸など）

足湯・お茶っこ・マジックショー

<1日目> 午前3時半に京都久御山を出発。名神・北陸・磐越・東北自動車道で一関経由気仙沼市・長磯七半沢仮設住宅の集会所にて役員さんとの交流。宿泊。

<2日目> 6時起床で7時から活動開始。まつり班と反松班の二班に分かれて活動する。まつり班；京うどんや綿菓子の販売とバザーの実施。売り上げは全て主催者にカンパをする。無料の法律相談コーナーも設けた。

反松公園仮設住宅班；自治会の役員さんと一緒に、集会所をお借りして活動。

全戸に『絆支援物資＝お米・お味噌・ティッシュボックス』を届ける。

活動内容・・・*無料バザー *足湯コーナー *お茶っこサロン

*マジックショー *餃子ピザ作り

- <3日目> 5時半起床で朝食後集会所の清掃。7時から活動開始。
 幸町市営住宅のコミュニティセンターをお借りして活動。
 幸町の自治会役員さんや気仙沼民商の役員さん達の応援を得て実施。
 活動内容・・・*京うどんの炊き出し *綿菓子づくり *足湯コーナー
 *無料バザーの実施 *お抹茶とおたべでお茶っこサロン
 *マジックショー
 ※「フラワースカイ」の演奏会もジョイントする。
 終了後、陸前高田市の被災地・奇跡の一本松を視察する。
 宿泊は、唐桑半島在住の支援者宅。
- <4日目> 6時起床。マイクロバスにて往路同様のコースで京都久御山へ。22時久御山着。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出		
	マイクロバスレンタル料 10000円×4日	40,000円
	高速料金(巨椋IC～一関IC)	40,270円
	燃料代	49,898円
	合 計	130,168円



沢山の支援物資を仕分けしながらダンボール詰め作業です。宅配便で気仙沼市へ発送します。



沢山の品物が寄せられました



お話ししながら、おしゃべりも!



足湯でホッコリ



うどんと練菓子コーナー

足湯コーナー

音楽ライブの会場

バザーコーナー



♪満月兄弟のオンステージ♪



練菓子 姉妹



音楽一歩、活動の一歩一歩共に活動の足跡

